
偽り人

キト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偽り人

【Nコード】

N3377D

【作者名】

キト

【あらすじ】

ある少年の偽り人生。どっちが本当？どちらも違う？

加那瑛貴（前書き）

現実的な話ではないです。

加那瑛貴

かなえいき
加那瑛貴

ある組織の『実行人』として、“人を殺す”仕事をしている。

物心がついた頃にはすでにある建物で生活し、『実行人』になる
為の訓練を受けていた。

小学校はいかず毎日、勉強と訓練。

中学では学校に通うが、訓練と・・・

その頃から、多少『実行人』の仕事もやるようになった。

高校生になってからは、訓練がなくなった。

そしてマンシヨンの部屋を与えられ、瑛貴にとって大事な家だった
その場所を、出なければならなくなった。

『実行人』として、本格的に始まるのだ。

瑛貴には、その大事な家だった場所の記憶がない。

記憶にあるのは・・・とても広い所で、同じ年の仲間達と訓練し
ていたこと、

そして厳しかった訓練内容。それだけ。

一緒に訓練を頑張った仲間、訓練指導者の顔や名前も思い出せない。

記憶を消されたのだ。

この組織の者はみな、力を持っている。記憶を消すことができる
者もいるのだろう。

瑛貴にも力がある。

物体を操ることができる力。

簡単に言えば超能力だが、この組織は自分の不思議な力に名前はない。

そして瑛貴は、他の者より身体能力が秀でていた。それは、組織の人間でも驚くほど。

“運動神経がいい”で、すませるようなものではないのだ。

それを隠しながら生活をする。

加那瑛貴

銀野高校1年。

学校では、そこいらにいる子供と同じ。

いつもニコニコして、陽気なヤツ。

ただの学生だ。

そんな瑛貴はクラスでも、一目置かれる存在。

だが、すぐ近くににいるようで遠い

近付きたいと思うほど、離れてしまう

と感じる者は少なくないだろう。

少し長めの茶髪で、パーマ頭。そして、よく前髪を一つにまとめ、明るく元気な男の子。

その子が時々見せる鋭い瞳は、彼の笑顔に隠され、学生と言う立場が彼を守る。

こんなただの学生が人間の命を簡単に奪ってしまえるとは誰も思わ

ない。

瑛貴は・・・殺す。

そして今日も何食わぬ顔で、
クラスメイトに笑顔を向けるのだった。

加那瑛貴（後書き）

小説を読んでくれてありがとうございます。初めてだし、文章力がなく下手なのですが、頑張るので、よろしく願いします！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3377d/>

偽り人

2010年12月9日05時46分発行